ＩＣＴ活用に向けた校内研修プラン⑤

ワールドカフェ形式による情報共有

教員個々にＩＣＴ活用の実践が行われていても、それが学校全体に広がらないことがあります。また、ＩＣＴを活用しようとしても、技術的に分からないことや、活用への不安が解消されない場合もあります。こうした状況を改善するために、ワールドカフェ形式の研修を実施してみてはいかがでしょうか。

○　研修時間　50分程度

○　研修のねらい

・ワールドカフェは、リラックスした雰囲気の中で対話することで、深い相互理解や新しい知識を生み出す話合いの手法です。対話を通してＩＣＴ活用に関する多様な活用例のみならず、各自が持つ疑問や不安感を全体で共有することで、気付きを得たり、解決の糸口を探ったりすることをねらいとします。

○　研修の準備

・各自で取り組んでいるＩＣＴ活用事例（活用のレベルは問わない）や、ＩＣＴ活用に関して分からないことや困っていることを自由に出し合い、情報共有と相互理解を図る研修であることを、事前に周知しておくと効果的です。

時間	内容・進め方	備考
３分	・運営者が、ワールドカフェの趣旨や方法を説明し、本研修のねらいや進め方を確認します。	＊ワールドカフェはメンバーを入れ替えて複数ラウンド行うのが通常ですが、本プランでは時間の関係で１ラウンドにしています。
15分	・グループ内で、各自のＩＣＴ活用事例や、ＩＣＴ活用に関して分からないことや困っていることを自由に発言（付箋に入力）します。 ・各自の端末を使用すれば、デジタルホワイトボード（Jamboard等）による対話が可能になります。	＊ブレインストーミングを重視するためグループ内に進行役を設ける必要はありません。
10分	・各グループの画面（付箋）を参加者全員で共有します。（付箋をグルーピングするなど）	
15分	・各グループの付箋を基に、全体で話し合います。特に、ＩＣＴ活用に関して分からないことや、困っていることを全体で共有し、その解決に向けたアイディアを出し合います。	＊ＩＣＴの知見を持つ教員から助言をもらうなど、ＩＣＴに対する不安の解消を図ります。
７分	・本研修を振り返り、今後、各自（または、学校）が取り組んでいきたいＩＣＴ活用について考えます。	＊記入用のワークシートを準備します。

Step up!

・ワールドカフェは研修のみならず、児童生徒の探究的な学びなどにも広く活用できる手法です。ＩＣＴ活用により、紙の付箋ではできなかった多様な学びが期待できます。

Google Jamboardやスライドをデジタルホワイトボードとして活用する方法については、「ＩＣＴ活用ミニハンドブック」にも記載がありますので、研修や授業で積極的に活用願います。
https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/handbook.html